

累積度数

●Memo 覚えておこう●

累積度数…度数分布表の最小の階級から、ある階級までの度数を加え合わせた値。

累積相対度数…ある階級までの累積度数を、全体の度数でわったもの。

- ① 下の表は、あるクラスの一日の読書時間の度数分布表である。次の問いに答えなさい。

読書時間(分間)	度数(人)	相対度数	累積度数(人)	累積相対度数
0 以上 ~ 10 未満	4	0.100	4	0.100
10 ~ 20	6	0.150	10	0.250
20 ~ 30	11	0.275	ア	0.525
30 ~ 40	8	0.200	29	イ
40 ~ 50	8	0.200	37	0.925
50 ~ 60	3	0.075	ウ	エ
計	40	1.000		

- (1) アとウにあてはまる数を求めなさい。

ア ウ

- (2) イとエにあてはまる数を求めなさい。

イ エ

- (3) 読書時間が50分未満の人数を答えなさい。

- (4) 読書時間について、累積度数や累積相対度数からわかることを答えなさい。

統計的確率

- ① 下の表は、1枚の硬貨を投げたときの、投げた回数と、表が出た回数をまとめたものである。次の問いに答えなさい。

投げた回数	100	200	400	600	800	…	2000
表が出た回数	54	94	204	297	404	…	1000
割合	A	0.470	0.510	B	C	…	D

- (1) 空欄A, B, C, Dにあてはまる数を答えなさい。

A	<input type="text"/>		B	<input type="text"/>
C	<input type="text"/>		D	<input type="text"/>

- (2) 投げた回数を多くしていくと、表が出た割合はある一定の値に近づいていく。このある一定の値を求めなさい。

●Memo 覚えておこう●

◆確率

同じ実験をくり返していくと、あることがらの起こる割合は一定の値に近づいていく。このように、あることがらの起こることが期待される程度を表す数を、そのことがらの起こる確率という。

追加ドリル 1 累積度数

追-1

- ① (1) ア…21, ウ…40
 (2) イ…0.725, エ…1.000
 (3) 37人
 (4) 〈例1〉 およそ半数(21人)の人の読書時間が30分未満である。
 〈例2〉 およそ52%の人の読書時間が30分未満である。
 〈例3〉 40人中, 37人の読書時間が50分未満である。
 〈例4〉 90%以上の人の読書時間が50分未満である。

考え方

- (1) ア… $4+6+11=21$
 (2) イ… $\frac{29}{40}=0.725$

追加ドリル 2 統計的確率

追-2

- ① (1) A…0.540, B…0.495
 C…0.505, D…0.500
 (2) 0.500

考え方

- (1) 表が出た割合 = $\frac{\text{表が出た回数}}{\text{投げた回数}}$ だから,
 Aは, $\frac{54}{100}=0.540$
 B, C, Dも同様にして求める。